

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	文書理解 I		（ TCM107 ）
講義名（コード）	TCM_文書理解 I _B		（ TCM107B ）
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1学年
対象コース	日中医療通訳コース	単位数	2
授業担当者	野澤 涼子	時間数	30
成績評価教員	野澤 涼子	講義期間	春学期
実務者教員		履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	国際力・人間力教育における、コミュニケーション分野の学びの中で、学生が自分とは異なる様々な主張を理解するために、様々な形式の文章から統合的に必要な情報を読み取れるようになる。
全体の内容と概要	日本語能力試験N1レベルの文字語彙と聴解を学び、日本語学習者として高いレベルの日本語表現理解について学ぶ。
授業時間外の学修	適宜宿題を出す。
履修上の注意事項等	試験会場と同様、携帯電話の使用は認めない。常に試験会場と同じ気持ちで受験すること。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1		オリエンテーション
2	N1の問題型式を理解する	必修パターン聴解 日本語理解の基礎力確認 パワードリル 第1回2回
3	N1の問題型式を理解する	必修パターン聴解 日本語理解の基礎力確認 パワードリル 第3回4回
4	問題の解き方を理解する	必修パターン聴解 会話の流れを読む（1） パワードリル 第5回 動詞(1)(2)
5	問題の解き方を会得する	必修パターン聴解 会話の流れを読む（2） パワードリル 第6回7回
6	問題の解き方を会得する	必修パターン聴解 会話の流れを読む（3） パワードリル 第8回9回
7	苦手分野の客観的把握	JLPT模試（文字語彙）・解説
8	実践的練習を通して時間配分の感覚をつかむ	JLPT模試（聴解）・解説
9	問題の解き方を理解する	必修パターン聴解 会話から情報を得る（1） パワードリル 第10回 慣用句(1)(2)
10	問題の解き方を会得する	必修パターン聴解 会話から情報を得る（2） パワードリル 第11回12回
11	主体となるポイントを見つけ出すことができる	必修パターン聴解 会話から情報を得る（3） パワードリル 第13回14回
12	未知の語彙や文法があっても正解を導くことができる	必修パターン聴解 会話から情報を得る（4） パワードリル 第15回 カタカナ語(1)(2)
13		期末試験
14		期末試験FB
15		前期のまとめ

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	日本語能力試験 N1読解 必修パターン 聴解 パワードリルN1 文字語彙
参考文献・資料等	適宜配布
備考	クラスの状況に応じて進度を変えることがあります。